

令和8年度 第1回公立鳥取環境大学:教育研究審議会 議事要旨

- 日 時 令和8年6月25日(木) 10:30～11:58
- 場 所 本部講義棟3階 大会議室(対面+オンライン会議)
- 出席者 小林朋道委員、宇佐美誠委員、坂口裕樹委員、植田紀子委員、河井登志夫委員
中山実郎委員、根本昌彦委員、門木秀幸委員、石川真澄委員、荒田鉄二委員
[10名/11名]
- 欠席者 足羽英樹委員

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

2 審議事項

(1) 第3期中期目標期間にかかる中期計画進捗管理について

事務局から第3期中期目標期間にかかる中期計画進捗管理について説明があり、案のとおり承認された。

(2) 2027年度入学生以降に適用する3つのポリシーの策定について

根本副学長から2027年度入学生以降に適用する3つのポリシーの策定について説明があり、案のとおり承認された。

〈主な意見等〉

- ・ 学年が上がると学修ポートフォリオの入力率が低下する。入力率向上について、どのように取り組んでいるか。
- 1年生は幅広く、2～3年生は面談日を決めて教員が指導するかたちで進めている。
- 今年の4月から新たにシステムを導入した。今年是最初の年であるため、来年度以降が勝負。学生の意見から考えると、最初は戸惑いがあったようだが、スマホやパソコンで一括して終わることと、やりとりが簡単になったとのこと。学生にとって拒否感は無いようである。
- ・ そのシステムは、保護者も確認できるのか。
- 成績関係等、確認できるようになっている。
- ・ AI時代の学びについて、無から有を生む仕事以外はAIに代わられる可能性がある中、どう対応されるか。
- 両学部について、1年生に対してAI・数理・データサイエンスの科目を必修化する。急速な変化に合わせた対応をとっていきたい。
- ・ 成人である学生の成績情報を保護者に開示して良いか。
- 入学時に同意書をもっている。保護者機能は今年の秋に利用を開始する。

3 報告事項

(1) 大学別認証評価の受審について

事務局から大学別認証評価の受審について報告があった。

(2) 公立鳥取環境大学における安全保障輸出管理体制の構築について

事務局から公立鳥取環境大学における安全保障輸出管理体制の構築について報告があった。

(3) 令和7年度決算について

事務局から令和7年度決算について報告があった。

(4) 近況報告

事務局から近況報告があった。

〈主な意見等〉

- ・ 中国からの留学生が減ったことについて、現在の国際情勢が関係しているのか。在籍している学生が帰るケースはあるか。
- 中国との関係性が影響していると考えている。在籍している学生が帰るケースは無い。
- ・ 県内就職率が上がってきているようだが、環境大学では何かしているか。
- 県内就職率が上がっていることに対して、県内企業についての情報を学生に提供する等、通常の実組はしているが何か特別なことをしている訳ではない。
- ・ 鳥取大学において、地元の高校生が受験しているのに、半分以上が入れていない状況。高校生の学力を上げるために、鳥取大学と環境大学が協力せざるを得ない。出来ることは何か、しっかり議論させていただきたい。
- 高校生が大学に来て受講し、入学すれば単位認定する仕組みなど、県内の高等学校との連携が考えられる。そういう動きは今後重要なポイントになってくると思う。

4 その他

5 閉 会